

## 令和3年度 修学旅行について

1 旅行先 筑波方面

2 実施期日 令和3年12月9日(木)～令和3年12月10日(金) 1泊2日

### 3 目的

- ① 我が国最大の研究拠点であるつくば市を訪問し、最先端の研究や施設設備に触れることにより、大学での学びのビジョンや大学卒業後の進路をイメージする一助とする。
- ② 校外での集団生活や進路学習を通して自律心を養い、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を養う。

### 4 日程

期日	発着	時刻	交通機関	宿舎(分宿)	見学箇所など
第一日目 12/9 (木)	学校発 (常磐自動車道経由) 研修会場着 宿舎到着	8:00  13:30 18:00	貸切バス (8台)	①ホテル日航つくば ②ホテルマロウド筑波 ③ダイワロイネットホテルつくば	「ミライ塾」特別宇宙講演 /人工衛星利活用ワーク ショップ
第二日目 12/10 (金)	宿舎発  学校着	8:30  18:00	貸切バス (8台)		クラス別研修

### 5. 「ミライ塾」特別宇宙講演／人工衛星利活用ワークショップ(1日目)

衛星が収集したデータの利活用について、講義またはグループワークで行うワークショップを行った。テーマとなる問題を課題分析の手法を用いて演習し、人工衛星によるリモートセンシング技術について学んだ上で、実際に行われている衛星データを用いた課題解決についての学びや、グループワークによるアイデアソンによるアウトプットまでを行った。SDGsの達成や地球環境問題など社会問題に対するアプローチについて、分析方法や課題解決の手法を実践的に学んだ。午後に講演からワークショップまで含めて4時間を超えるプログラムであったが、参加した生徒の約9割がためになったと回答した。

### 6. クラス別研修(2日目)

クラスごと、修学旅行委員を中心に研修計画を立てて実施した。各自視野を広げ、クラスの結束を固めることができた。例年東北大学オープンキャンパスに行くことを推奨しているが、2年連続コロナ禍で中止。昨年の修学旅行では福島県会津大学訪問をプログラムに盛り込んだ。今年は大学の受け入れ体制の問題もあったが約半数の生徒が筑波大学訪問を実現できた。コロナ禍で多くの大学でオープンキャンパスが中止またはweb開催のみとなった中、実際のキャンパスを体験できたことは大きな意義があった。生徒には大いに刺激になった。

以上のことから、生徒の今回における研修の目的は概ね達成できた。生徒が社会を知ることで就学心と探究心が大いに刺激されたものと思う。